

「大東市企業紹介 ～株式会社オオニシ編～」

第10回は、「組立て」コンポート企業として

本記事は LED 照明器具の組み立てをおこなっている株式会社オオニシ(本社:大東市)の大西社長にインタビューしました。

大学卒業後、入社された大西社長ですが、当初はお父様である先代とやり方や考え方の違いでぶつかることも多かったそうです。

大西社長が 25 歳の時に、仕事に関しては大西社長が、経理など経営面は先代が見られるようになったそうですが、やり方は違えど、雇用の仕組みは 35 年前から変わらず、現在にも繋がっているとおっしゃいます。



「働ける時間だけ来てくれればいい、長くここで務めてくれる人になってほしい」

- *自分で働ける時間を決めて働ける。
- *子供同伴出社 OK(学級閉鎖になった場合などは一緒に)。
- *母子家庭の家庭には子供が学生の間は家族手当、住宅手当を出している。
- *大東市の「くらしサポート大東」※からの雇用もおこなっている。
※「くらしサポート大東」…生活困窮者および生活保護受給者を対象に相談から就職に至るまでの一貫した就労支援を行う事業

全て株式会社オオニシでおこなわれていることです。

現在氷野工場は通学路の途中にあります。お母さんたちの子どもの送り迎えを考慮し、働きやすさを考えて場所を決めたとおっしゃいます。

子どもが小さい時は午前中だけ、小学生になったら午後も、と生活の環境に合わせて働ける仕組みをつくられています。

雇用する側の「働いてくれることへの感謝」と、働く側の「働くことへの感謝」と、両面からの感謝で成り立っています。

朝はまず掃除から始まり、その後に朝礼をおこないます。終業時間はそれぞれ違うので、終礼はなく全員が揃う朝に掃除が行われています。



「将来への展望」

・LED 照明の先の見通しは難しい、今後人口が減っていく中で小ロットに対しての対応が大切になってくる。

・小ロット多品種でも対応できる体制を作る、「試作から量産に」

・企業同士の横のつながりを作ることにより、コストのたたき合いでなく協力体制を作ることで、受注の安定、利益体質の改善に繋げて行く。

・「人が財産」であり、女性が働きやすい仕事であれば組立てではなく、箱詰めなどでも構わない。女性が働きやすい環境づくりを今後も行っていく。その環境を作ることが出来る仕事であれば、どのような仕事でも構わない！

その為に企業との繋がりを多く作り、異業種とも繋がりを多く作っていく。跡継ぎのいない会社を引き継いでいくことも視野にいられているとおっしゃいます。

最後まで女性が働きやすい環境を作っていくことを話された大西社長、「働いている人の差別化はしない」とお話されていたのが大変印象的でした。



次回は働く環境作りだけでなく、その中で確かな品質を作る仕組みづくりについて深掘りします。